

オヒルムシロ

Potamogeton natans L.

ヒルムシロ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内の稀産種であるが、既知のほとんどすべての生育地で生育条件が著しく悪化している。(現状評価:RO)

形態

浮葉と沈水葉の発達する浮葉植物で、水中茎の長さは2~3mに達することがある。沈水葉は互生、針状、長さ12~30cm、幅0.5~2mm。浮葉の葉身は楕円形で、基部は浅い心形、葉柄は10~18cm。浮葉では、フトヒルムシロと区別できないことがある。花穂3~5cm、4心皮、密に花が着く。冬になると葉腋から伸びる側枝が伸長を止め、殖芽となる。

国内分布

北海道、本州、四国。

県内分布

中能登区、加賀中央区、(南加賀区)。

生態など

群生して花期は5~8月。

生育環境

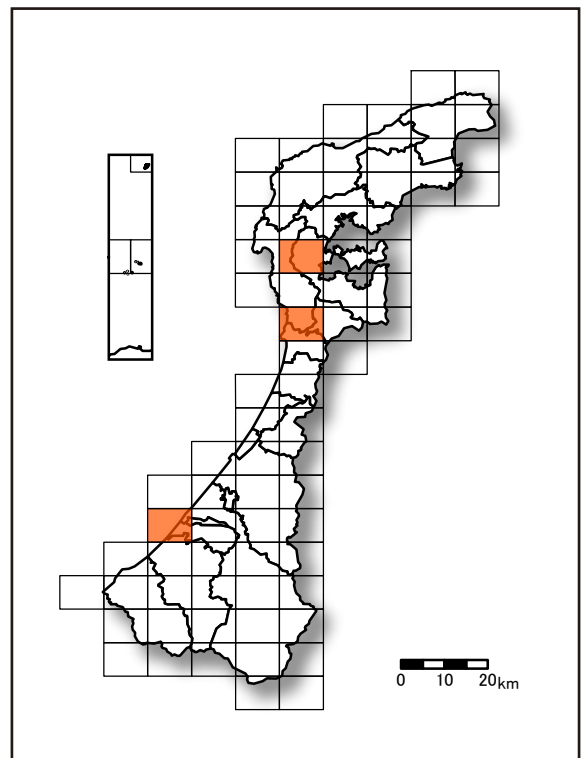
河川などの流水域、湧水のある河川、池沼に生育。

危険要因

河川開発、水質汚濁。



白井伸和・2007年8月23日・志賀町



県内の分布